

/*

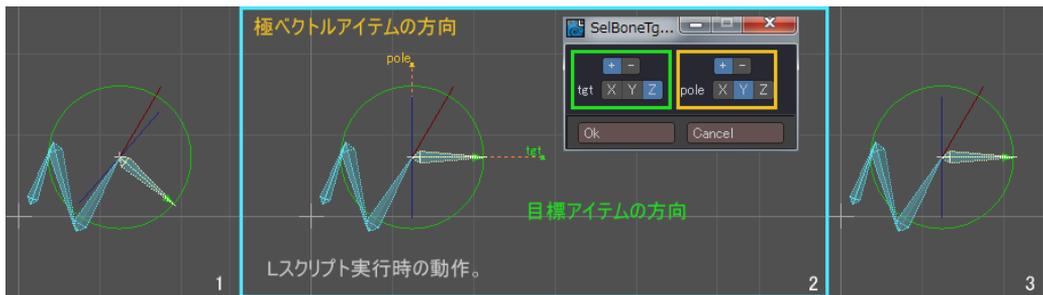
LScript Layout
SelBoneTgtRot_ds
V1.6
Daisuke Suzuki
History: 2017/10/23

*/

◆はじめに

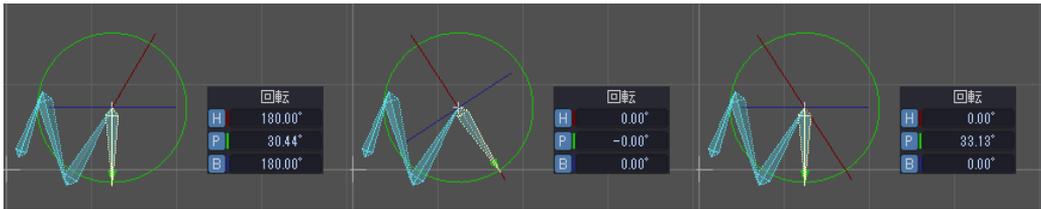
SelBoneTgtRot_ds は、ボーンを X・Y・Z 軸方向に向けます。主に骨入れのセットアップ時に利用します。(アニメーションではあまり利用しません。)

◆使用方法



- 1 : ボーンを選択して SelBoneTgtRot_ds を起動します。
- 2 : tgt(目標)と pole(極ベクトル)の方向を決めるチョイスボタンがあります。これでボーンの向きを指定します。2の画像は分かり易く図解したものです。
- 3 : OK ボタンを押すとボーンが+Z 軸方向に向けられた状態になります。

◆ 注意



`SelBoneTgtRot_ds`を実行すると、ボーンが反転する場合があります。このような場合はボーンを適当に向けたい方向へ向けて中心点回転記録した後に `SelBoneTgtRot_ds`を実行してください。

◆ バージョン変更点

ver1.6 2017/10/23

- 中身の整理とボーンの複数選択に対応。

ver1.5 2015/02/26

- 設定した軸方向に向けられない問題を直しました。

ver1.4 2014/12/21

- ボタンの変更とコードをコンパクトにしました。7.46KB→2.75KB

ver1.2 2014/12/18

- フレームスライダを合わせたフレームにキー作成します。アニメーションにも利用出来るようになりましたが、ジンバルロックが発生するのであまり利用することはありません。

ver1.1 2014/09/01

- 極ベクトル方向の指定を出来るようにしました。
- 旧 ver では中心点回転記録を行っていましたが無しにしました。

ver1.0 2014/08/26